

# この街 あの人 この人

## 源頼朝伝説にあやかった新たな祭りを いちほら大綱引実行委員会



大綱は全長 150 疋、直径 15 疋、総重量 1 トン  
綱引きが生む地域の団結

いちほら大綱引は、市内を東西南北の 4 区域に分け、200 人対 200 人で対抗戦を行う綱引きです。開催に向けて準備を進めている、同実行委員会会長の井澤源之さんと実行委員長の末光敦さんに話を聞きました。

**市内の伝承を地域活性化に生かしたい**  
同実行委員会では、市原青年会議所のメンバーが中心となり、2 年以上前から企画を練り続けてきました。「きっかけは、地域を盛り上げるため、市全体が一つになれるようなイベントを開催できないかと考えたことです」と語る井澤さん。  
市原地区の『逆さ銀杏』(飯香岡八幡宮)や加茂地区の出世観音(養老山立國寺)など、市内には源頼朝にまつわる伝承が多く残っていることに注目。源頼朝伝説をテーマとした理由について、末光さんは「多くの豪族をまとめ上げて戦に勝利した結束力や勝負運にあやかり、競技性のある綱引きと組み合わせることで、市原市の歴史的背景と地域の団結力を生かせるイベントができればと考えました」と話します。同実行委員会では、企画立案に当たり、町を挙げて綱引きに取り組んでいる佐賀県の呼子町を視察。「観光客が多く集まり、地元を出た若者も祭り

に参加するために帰ってくるんです。感銘を受けました」と末光さんは続けます。  
**市原の魅力を代々受け継ぎたい**

大綱引きで使う、綱の引手の両陣営の間には、木組みの舞台を設置しています。舞台について 365 個の鈴には、『365 日人に支えられて生きている』というメッセージが込められています。

井澤さんは「何より、皆さんに楽しんでもらいたい。そして、参加した人には、この大綱引きをきっかけに、自分の住むまちのことを知ってもらいたい。地域に根差した、市原市を代表する新たな祭りになればと思っています」と語ります。

### 大綱引きへの参加者を募集

大綱引きは、10 月 25 日(土)に開催する上総いちほら国府祭りの中で行います。参加希望者は、いちほら大綱引のウェブサイトから申し込んでください。

☎ <http://www.ichiharaotunahiki.com/>

## Art Collection



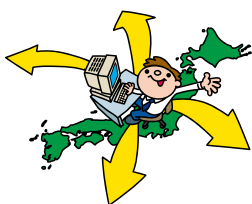
「美しい凝視(青)を受けている何かを、空想して描いてみた。透明な視線とは、美しいものである。銅版画だけが持っている繊細さ、そういう視点、視線を空想して描いてみるのは、真に楽しい。澄明満足。銅の肌は美しい」(深沢

凝視(青) (深沢幸雄・1973 年作) 幸雄氏談  
9 月下旬まで市役所ロビーで展示しています。  
問合せ ふるさと文化課 ☎ 9853

## 防災コーナー ㊸

### ～全国瞬時警報システム～

全国瞬時警報システム(J-ALERT)とは、国が発信する緊急情報を、人工衛星を経由して市町村の防災行政無線で自動的に放送するシステムです。発信される情報は次のとおりです。



- 大津波警報、津波警報
- 緊急火山情報
- 東海地震の予知などに関する情報
- 緊急地震速報 (市内の予測震度が 5 弱以上のとき)
- 弾道ミサイル、航空攻撃、ゲリラ・特殊部隊攻撃、大規模テロに関する情報

問合せ 防災課 ☎ 9823

編集・発行 / 市原市役所企画部広報広聴課  
〒 290-8501 市原市国分寺台中央 1-1-1  
☎ 0436-22-1111(大代表)

広報いちほらは、再生紙を使用しています。

## いちほら 歴史物語

### 71 市原の仏像と祈りの世界 最古の記録を持つ観音像

#### 武士の観音像

法泉寺にいにしえより伝わる観音像があります。一般的な形の聖観音立像です。像高約 80 ㍍と小ぶりですが、気品のある立ち姿はとても印象的です。

#### 仏の出生証明

市内の仏像彫刻は、古いものでは千年以上の長きにわたって伝えられてきたものもあります。造立や伝来の詳細は謎であることが多いです。しかし、武士の観音像は違います。像の足の裏側に、『建長 8 年(1256 年)』と、造立年が記されています。

ました。具体的な年号が分かる仏像では、市内で最も古いものとなります。



聖観音立像(右)と像底面の墨書(左)  
(市指定文化財・非公開)

建長 8 年は、著名な仏師・運慶の没後 30 年余りたったころのことです。この観音像は、鎌倉彫刻の本流にとらわれず、平安時代からの伝統的な一木造(桜材)で、穏やかな雰囲気をもっています。一方、身に着けた衣には最新の仏像彫刻の流行が取り込まれ、橋禅寺の薬師三尊像とともに、積極的に新しい文化を取り入れていたことを示唆する好例です。

#### 9853

問合せ ふるさと文化課 ☎ 9853

地元を見守り続けて 758 年  
そしてもう一つ重要な記録と

『武士』とは、現在の武士のことです。13 世紀半ばに、すでに武士の地名があったことを示す貴重な文字資料です。

観音像は、左膝を緩やかに曲げています。助けが必要な人の元へ、すぐにも一歩踏み出すという待機の姿勢で、地元市原を静かに見守っているのです。

市ウェブサイトのトップページに掲載する『バナー広告』を募集中!

問合せ 広報広聴課 ☎ 9821 市原市 バナー広告 検索